

いくえい塾五日市校のクラス指導

今年度から公立高校の入試制度が大きく変わること、やっと、やっと、やりたかった指導ができるようになりました。嬉しくてたまりません(^^)♪

いくえい塾五日市校のクラス指導(小5～中3)は**高校受験を目標**として、通常の授業は学校の先取り学習を行っています。小・中学校で習う前に塾で学習するので、子どもたちからすると予習をして学校の授業に臨んでいるようなものです。

塾で習い、学校で習い、テスト前にもう一度復習し、一つの単元につき3回学習することになります。

1クラスの定員は15名で、理解度・習熟度はバラバラです。

しかし、習熟度別のクラスを設けることはしません。

習熟度別のクラスを設けるメリットは、指導する教師が楽になるということくらいです。

習熟度別の方が子どもたちも自分のレベルにあった授業を受けられて良いように思われるかもしれませんが。

しかし、たった15名です。

予備校のように100名もいるわけではないのです。

誰かが質問します。または教師が質問を投げかけます。

その問題が分からない子たちは一生懸命説明を聞きます。そして、分かっている子たちもしっかりと説明を聞いています。

だいたい、質問してくる子たちや質問に答えられない子たちは勉強が少し苦手です。そして質問する度に・間違える度に褒められ、ますます質問し・間違えることを恐れず力をつけていきます。

理解の早い子たちはあまり質問しません。しかし、誰かが質問すると・間違えると、先生たちがそれについての説明を質問した子たちが・間違えた子たちが分かるまで、いろいろな方向から繰り返し説明してくれるので、よりいっそう理解が進むことになる、ということが分かっているからしっかりと説明を聞いているのです。

初めて習う内容です。誰もがすぐ完璧に理解できることなどそうそうありません。だから誰かが質問してくれると、または教師の質問に答えられない子たちがいると全員の理解が進むのです。

勉強が苦手な子もよくできる子と一緒に授業を受けるからどちらも出来るようになる。

自分だけのペースで学習するのではなく、誰かに合わせて学習するから出来るようになる。

これがいくえい塾五日市校のクラス指導です。



中学生は、教科指導中心で問題演習の際はできるだけゲームを行うようにしています。単に問題を解くだけでなく勝ち負けをつけると俄然やる気になるのは大人も子どもも同じですね(^^)。やる気になるから集中力が増し楽しみながら力をつけることができます。楽しくなければ塾じゃない！でも楽しいだけでも塾じゃない！だからどんなに宿題を出されても必ずやってくる(^^)v



小学生では、さらに時間的な余裕があります。**目標は高校受験**ですから、たっぷり時間をかけていろいろなことを教えることができます。

例えば、 28×25 。

やり方さえ知っていればすぐに700と答えることができます。

基本は $25 \times 4 = 100$ です。これは絶対に覚えなくてはいけない基本計算です。

28は4の段なので 7×4 と書き換えることができます。

すると、 $28 \times 25 = 7 \times 4 \times 25$ となり、 4×25 を先に計算して、 $7 \times 100 = 700$ となります。

さらに $75 \times 4 = 300$ 、 $125 \times 8 = 1000$ なども覚えておくともっと応用がききます。

ひっ算よりも速く正確に計算できます。

例えば、read (リード：読む)

なぜ、リードでなくリードと読むのでしょうか？

英語には読みと発音のルールがちゃんとあることをご存じでしょうか？

readの場合、「母音が2つ続くときは後ろの母音は発音せず、前の母音をアルファベット読みにするというルール」から、aは発音せずeを「エ」ではなく、アルファベット読みの「イー」と発音することになります。そこで、rがル、eaがイー、dがドで「ルイー ド」→「リード」となるのです。

英単語を見れば発音できて、発音できるから意味がわかる！

発音のルールを知っていれば、英単語を覚える苦勞が激減します！

ほんの一例です。

算数や英語に限らず、もっともっと、もっともっと、もっともっと、教えたいたことがあ
ります。自分が子どもの頃に知っていたら、勉強を好きになっていたとは言えませんが
(-_-);、確実に苦勞は減っていたと思えることを沢山教えたい。

だから小学生からの塾通いをお勧めします！

学年の枠に捕らわれず、教えても良いことは教えることができる。塾ですから(^^)v

